



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月8日

上場会社名 バンドー化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5195 URL <https://www.bandogrp.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉井 満隆
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 林 一志 TEL 078-304-2516
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	23,575	6.0	1,916	40.2	2,410	45.8	1,814	34.3
2018年3月期第1四半期	22,240	1.8	1,366	△6.3	1,653	28.0	1,351	37.1

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 985百万円 (△40.6%) 2018年3月期第1四半期 1,660百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	39.61	—
2018年3月期第1四半期	29.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	99,449	63,689	63.8
2018年3月期	98,990	63,394	63.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 63,459百万円 2018年3月期 63,162百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,000	3.0	6,500	2.6	7,000	6.1	5,000	4.3	109.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	47,213,536株	2018年3月期	47,213,536株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,392,872株	2018年3月期	1,415,326株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	45,806,411株	2018年3月期1Q	45,851,997株

(注) 当社は、従業員持株E S O P信託および役員報酬B I P信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料] P. 3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

(日付の表示変更について)

当第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国は民間部門の自律的な景気回復局面にあり、欧州も緩やかな景気回復が持続いたしました。アジア地域および中国の景気は総じて堅調であり、日本も緩やかな回復基調が持続いたしました。総じて堅調な経済状況である一方で、米国の通商・外交政策等が世界経済に影響を与える懸念もあります。

当社グループの主要な市場である自動車分野におきましては、米国では、安定した個人消費に後押しされ、自動車生産台数が前年度を上回る状況で推移いたしました。アジア地域および中国においても自動車生産台数が堅調に推移し、日本では、新型車の投入などにより生産台数が前年度を上回る状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、中長期経営計画“Breakthroughs for the future”(未来への躍進)の第2ステージの初年度として、新事業の創出、コア事業の拡大、ものづくりの深化と進化、個人と組織の働き方改革の4つの指針を掲げ、グローバルで「際立つ」サプライヤーを目指しての活動を開始いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高は235億7千5百万円(前年同期比6.0%増)、営業利益は19億1千6百万円(前年同期比40.2%増)、経常利益は24億1千万円(前年同期比45.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億1千4百万円(前年同期比34.3%増)となりました。

事業(セグメント)別の状況は、次のとおりであります。

[自動車部品事業]

国内においては、自動車生産台数が前年度を上回る状況で推移し、補機駆動用伝動システム製品(オートテンション、バンドースムースカップラー[®]など)の販売が増加いたしました。また、積極的な営業活動や品揃えの拡大により補修市場への販売も増加いたしました。

海外においては、中国において主要顧客の生産台数の増加により販売が増加いたしました。アジア地域において積極的な顧客開拓に注力したことにより、補機駆動用伝動ベルト、補機駆動用伝動システム製品およびスクーター用変速ベルトなどの販売が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は106億2千万円(前年同期比6.7%増)、セグメント利益は8億8千3百万円(前年同期比25.9%増)となりました。

[産業資材事業]

一般産業用伝動ベルトにつきましては、国内においては、民間設備投資需要が増加したことにより、産業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。また、中国地域、米国および欧州における販売強化により農業機械用伝動ベルトや産業機械用伝動ベルトの販売が増加いたしました。

運搬ベルトにつきましては、国内において鉄鋼向けなどの案件が増加いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は83億8千5百万円(前年同期比5.9%増)、セグメント利益は5億7千5百万円(前年同期比55.1%増)となりました。

[高機能エラストマー製品事業]

機能フィルム製品につきましては、建築材業界への販売強化により、建築資材用および工業資材用フィルムの販売が増加いたしました。また、事業転換の一環として新たな用途開拓を進めている自動車・二輪車用外装フィルムの販売も増加いたしました。

精密機能部品につきましては、主要顧客であるOA機器メーカーの生産台数は横ばいで推移し高機能ローラおよびブレードの販売も前年並みで推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は39億9千4百万円(前年同期比2.2%増)、セグメント利益は高付加価値製品への転換が進んだことなどにより2億2千1百万円(前年同期比171.0%増)となりました。

[その他事業]

その他の事業といたしましては、ロボット関連デバイス事業などを行っており、売上高は7億9千万円(前年同期比32.5%増)、セグメント利益は1億6千万円(前年同期比132.7%増)となりました。

上記の各セグメント別売上高およびセグメント利益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、流動資産が11億1千4百万円増加した一方、固定資産が6億5千5百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ4億5千9百万円増加し、994億4千9百万円となりました。

負債は、流動負債が2億5千2百万円増加した一方、固定負債が8千8百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ1億6千3百万円増加し、357億5千9百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益等の計上により利益剰余金が11億1千8百万円増加した一方、その他の包括利益累計額が8億4千4百万円減少した結果、前連結会計年度末に比べ2億9千5百万円増加し、636億8千9百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末と同じく、63.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日に公表いたしました連結業績予想のとおりであります。

なお、業績予想について見直しが必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,947	19,571
受取手形及び売掛金	18,950	19,170
電子記録債権	2,834	3,043
商品及び製品	7,099	7,085
仕掛品	1,708	1,774
原材料及び貯蔵品	3,080	3,179
その他	1,182	1,082
貸倒引当金	△37	△26
流動資産合計	53,767	54,881
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,724	9,667
機械装置及び運搬具(純額)	9,839	10,059
土地	6,416	6,378
建設仮勘定	1,794	1,294
その他(純額)	1,634	1,656
有形固定資産合計	29,409	29,056
無形固定資産		
のれん	64	61
ソフトウェア	734	786
その他	764	697
無形固定資産合計	1,563	1,545
投資その他の資産		
投資有価証券	12,443	11,790
繰延税金資産	501	838
その他	1,448	1,473
貸倒引当金	△142	△137
投資その他の資産合計	14,249	13,965
固定資産合計	45,222	44,567
資産合計	98,990	99,449

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,966	9,960
電子記録債務	4,441	4,528
短期借入金	2,921	2,937
未払法人税等	925	718
株式報酬引当金	15	—
その他	6,773	7,150
流動負債合計	25,043	25,295
固定負債		
長期借入金	3,226	3,181
社債	6,000	6,000
株式報酬引当金	39	51
退職給付に係る負債	1,123	1,051
その他	162	180
固定負債合計	10,552	10,464
負債合計	35,595	35,759
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,951	10,951
資本剰余金	2,995	2,995
利益剰余金	49,371	50,490
自己株式	△1,421	△1,398
株主資本合計	61,897	63,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,552	2,214
為替換算調整勘定	△1,545	△2,066
退職給付に係る調整累計額	257	272
その他の包括利益累計額合計	1,265	420
非支配株主持分	231	230
純資産合計	63,394	63,689
負債純資産合計	98,990	99,449

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	22,240	23,575
売上原価	15,611	16,266
売上総利益	6,628	7,309
販売費及び一般管理費	5,262	5,392
営業利益	1,366	1,916
営業外収益		
受取利息及び配当金	122	120
持分法による投資利益	155	199
為替差益	7	197
その他	86	76
営業外収益合計	371	593
営業外費用		
支払利息	55	43
固定資産除却損	5	31
その他	24	24
営業外費用合計	85	100
経常利益	1,653	2,410
税金等調整前四半期純利益	1,653	2,410
法人税、住民税及び事業税	545	771
法人税等調整額	△253	△182
法人税等合計	292	589
四半期純利益	1,361	1,821
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,351	1,814

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	1,361	1,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	198	△335
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	94	△277
退職給付に係る調整額	81	14
持分法適用会社に対する持分相当額	△74	△237
その他の包括利益合計	298	△835
四半期包括利益	1,660	985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,651	969
非支配株主に係る四半期包括利益	8	15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車部品 事業	産業資材事 業	高機能エラ ストマー製 品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	9,933	7,894	3,900	21,728	512	22,240	—	22,240
セグメント間の内部 売上高または振替高	18	22	8	49	83	133	△133	—
計	9,952	7,917	3,908	21,777	596	22,374	△133	22,240
セグメント利益	701	371	81	1,154	68	1,223	143	1,366

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主としてロボット関連デバイス事業他であります。
2. セグメント利益の調整額143百万円には、セグメント間取引消去3百万円、全社費用139百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額および各報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	自動車部品 事業	産業資材事 業	高機能エラ ストマー製 品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,606	8,333	3,986	22,926	648	23,575	—	23,575
セグメント間の内部 売上高または振替高	13	51	7	73	141	215	△215	—
計	10,620	8,385	3,994	23,000	790	23,790	△215	23,575
セグメント利益	883	575	221	1,681	160	1,841	75	1,916

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主としてロボット関連デバイス事業他であります。
2. セグメント利益の調整額75百万円には、セグメント間取引消去3百万円、全社費用71百万円が含まれております。全社費用は、各報告セグメントに配賦した一般管理費および研究開発費の予定配賦額と実績発生額との差額および各報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

[海外売上高]

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

	アジア	中国	欧米他	計
I 海外売上高(百万円)	6,373	2,520	2,735	11,629
II 連結売上高(百万円)				23,575
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	27.0	10.7	11.6	49.3

- (注) 1. 海外売上高は、当社および連結子会社の日本以外の国または地域に対する売上高であります。
2. 国または地域の区分の方法および各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。
- (1) 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
- (2) 各区分に属する主な国または地域
- アジア……………タイ、韓国、インド、インドネシア、ベトナムほか
- 中国……………中国、香港
- 欧米他……………米国、ヨーロッパ、中南米、オセアニアほか